



まずは、単元のねらいと評価規準を設定しましょう

ねらい 我が国の歴史上の主な事象について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、各種の資料で調べてまとめ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現することを通して、江戸幕府のはじまり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を手掛かりに、武士による政治が安定したことを理解できるようにする。また、主体的に学習問題を追究し、解決しようとする態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などについて、各種の資料で調べてまとめ、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を理解している。 ②調べたことをノートやタブレットの図表などにまとめ、武士による政治が安定したことを理解している。	①世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、問いを見だし、江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について考え、表現している。 ②江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制を関連付けたり総合したりして、幕府の政策の意図や社会の様子を考え、表現している。	①江戸幕府の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

つぎに、ゴールを見据えて単元を構想しましょう

単元の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

時間	主な学習活動など	知	思	態
1	[本時のめあて] 単元の学習問題をつくり、予想や学習計画を立て、解決の見通しをもとう。 【単元の学習問題】なぜ、江戸時代は、約260年も続いたのだろう。 ～江戸幕府は、どのように力を強め、政治を安定させたのだろう～		●	●
2	[本時のめあて] 江戸幕府は、大名に対して、どのような政策を行ったのだろう。 ・本時のめあてについて、各種の資料を基に調べ、話し合い、考えをまとめる。	●		
3				
4	[本時のめあて] 江戸幕府は、武士ではない人々に対して、どのような政策を行ったのだろう。 ・本時のめあてについて、各種の資料を基に調べ、話し合い、考えをまとめる。	●		
5				
6	[本時のめあて] 江戸幕府は、外国に対して、どのような政策を行ったのだろう。 ・本時のめあてについて、各種の資料を基に調べ、話し合い、考えをまとめる。	●	●	
7				
7	[本時のめあて] 単元の学習問題に対する自分の考えをまとめ、説明しよう。 【単元の学習問題】なぜ、江戸時代は、約260年も続いたのだろう。 ～江戸幕府は、どのように力を強め、政治を安定させたのだろう～	○	○	
8	[本時のめあて] 江戸時代が長く続いたのは、幕府のどの政策が有効だったからか。 ・新たな問いに対する自分の考えをまとめ、話し合い、さらに考えをまとめる。		○	○

単元の見通し

本単元は、第1時のつかむ段階で、「単元の学習問題」を設定し、その解決に向けて、第2～6時の調べる段階で、「本時のめあて」の追究、解決を目指します。第7～8時のまとめる段階では、「単元の学習問題」について、個や集団で考えを吟味して解決を図り、さらに児童の思考をつなげて設定した新たな問いを追究し、思考の深化を図ります。児童の思考過程を大切にしながら、単元及び毎時間の学習を「つかむ、調べる、まとめる」という問題解決的な学習過程で行うことは、追究意欲の向上につながると考えます。



ICTの活用

調べる段階において、適切な資料が入った「資料箱」を教師が用意し、児童が必要に応じてタブレットからアクセスして学習に活用できるようにします。また、調べる段階やまとめる段階において、タブレットの思考ツールを活用して自分の考えをまとめたり、お互いの思考のプロセスを可視化して学び合ったりして、深い学びにつながるようにします。毎時間の児童の振り返りについてもタブレットで共有し、様々な考えに触れられるようにすることにより、個々の思考の広がりや学習調整に役立つようにします。

本時のねらい 江戸幕府の諸政策について関連付けたり総合したりして、政策の意図や社会の様子を考え、表現できるようにするとともに、主体的に追究し、解決しようとする態度を養う。

前時までに児童の考えを基に設定した新たな問い「江戸時代が長く続いたのは、幕府のどの政策が有効だったからか」について考えます。これまでの学習を基に、タブレットの思考ツールを利用して、自分の考えをまとめて理由を説明したり、話し合ったりすることを通して、より一層、思考が深まるようにします。

学習活動

① 本時のめあてを把握する(つかむ)。

- 前時までの学習や個人の振り返りなどを共有し、本時のめあてを確認する。

江戸時代が長く続いたのは、幕府のどの政策が有効だったからか。

- 本時の学習活動を確認する。

思考ツールを使って自分の考えをまとめ、その理由を説明しよう。

② 本時のめあてを追究する(調べる)。

〔個人で追究する〕

- これまでの学習を生かしながら、タブレットの思考ツールを用いて、自分の考えをまとめる。

〔集団で追究する〕

- 自分の考えをペアやグループで伝え合ったり、全体で共有したりして、本時のめあてについて話し合い、考える。

③ 本時のめあてを解決する(まとめる)。

- 本時のめあてに対する自分の考えを、思考ツールと言葉でまとめる。
- 本時の気づきや自らの学びに関することなどを、振り返りシートに記入する。



児童の振り返り

これまで学習してきたことを見直して、幕府の政策の意図や人々がそれをどのように受け止めたのかなど、いろいろと考えたり想像したりして、自分の考えをまとめることができました。私と違って、「外国への政策の方が重要で効果があった」という友達の考えは参考になりました。確かに、外国との関わりから幕府に反対する人々が力を付けることは、政治の不安定につながると思います。江戸時代が長く続いた理由は、いろいろなことが関連して考えられるので、奥が深いと感じました。友達の考えを知ることや話し合うことは、考えが深まって楽しいので、次の江戸時代の文化の学習も、もっとみんなと話し合いたいです。



本時の見どころはココ！

- どの政策が最も重要で有効だったかを考える際、政策を書いたカードをタブレット上のピラミッドチャートのどこに配置するか考える活動を行い、自分の思考を可視化して整理しやすくします。また、カードを色分けすることにより、どの人々に対する政策であったかを捉えやすくします。

〔幕府の政策(例)〕

参勤交代	五人組	キリスト教禁止
武家諸法度	身分制	オランダとの貿易
大名の配置	おふれ書き	鎖国

〔カードの色分け〕

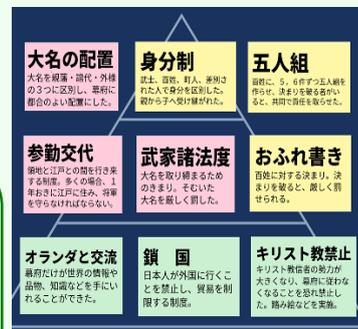
桃色	…大名への政策
黄色	…武士ではない人々への政策
緑色	…外国にかかわる政策

- ピラミッドチャートを示しながら、お互いに自分の考えを説明したり、学級全体で多様な考えを共有したりして、本時のめあてについて話し合います。友達との交流により、新たな気づきを得たり、思考を深めたりできるようにします。



- 友達の意見を聞いた後に、再度、個人で考える時間を設け、自分の考えを再整理して理由をまとめます。

私は、大名の配置や身分制、五人組など、幕府が国内の人々を治めやすくした政策が重要で有効だったと思います。そして、厳しいきまりをつくり、それを様々な身分の人々がつらくても守るしくみができていったことが、長い江戸時代につながったと思います。外国への政策も有効だったと思いますが、まず、国内が重要だったと考えます。



最後に、単元を振り返り、児童にどんな力が身に付いたか確認しましょう



児童の学習の様子や記述から、学習問題を意欲的に追究する姿が見られるとともに、調べて身に付けた知識を活用し、幕府の諸政策を関連付けたり総合したりして自分の考えを表現できており、武士による政治が安定したことを理解できていると考えられます。単元を通して児童の思考を大切に、「学習問題」を意識しながら問題解決的な学習を行ったことは、児童の主体的な学習につながり、また、計画的にタブレットを用いて自分の考えを交流したり、振り返りを共有したりしたことは、友達の多様な考えに触れ、根拠をもって考え、表現する力につながったと思います。